

平成 30 年度中学生チャレンジテスト

第 2 学年 国 語

注 意

- 1 調査問題は、1ページから23ページまであります。先生の合図があるまで、調査問題を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙⑥（国語）に記入してください。
- 3 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。
また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 8 調査時間は45分です。

左に、生徒アンケートが二問あります。先生の指示に従って、調査開始前に取り組んでください。アンケートの回答は解答用紙のアンケート欄のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。

アンケート

次のアンケートを読んで、当てはまるもの一つずつ選びなさい。

- (1) 国語の授業の内容はよく分かる。……………①
- (2) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。……………①

①	当てはまる
②	どちらかと いえは、当て はまる
③	どちらかと いえは、当て はまらない
④	当てはまら ない

問題は、次のページから始まります。

☐ 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次のア～エのうち、楷書かいしよから行書へ書きかえたときに筆順が変化する漢字を一つ選びなさい。

ア 紅
イ 大
ウ 完
エ 林

2 次の①～③の文中の——線部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きなさい。

- ① この商品には説明書が添付そんぷされています。
- ② 共通点と相違さいち点について話し合いました。
- ③ 玄関げんかんに設たけた受付うけまでお越こしてください。

3 次の①～③の文中の——線部のカタカナを文の内容に合うように、漢字に直し楷書で、いねいに書きなさい。

- ① 誰も思いつかないドクソウ的な作品だと思います。
- ② このシュウカン誌は、火曜日に発売されます。
- ③ 地域の方を学校にマネいて交流します。

4 次の文中の——線部が修飾しゆしよくしている一文節を抜き出ぬしなさい。

風がさつとふいたとき、かすかに誰かがひいているピアノの音が聞こえました。

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

長距離走者である高校二年生の加納碧李は、半年前に試合で負けた。その後、妹の杏樹を見守ることを理由に退部届を出した。しかし、実力を認めている箕月監督、マネジャーの前藤杏子、チームメイトの久遠信哉が走ることを碧李に後押しし続ける。そして杏樹の「走ってほしい」という言葉で、自分と向き合い始めた碧李は再び陸上部へ復帰する。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(あさのあつこ『ランナー』による)

1 本文中の——線部①と同じ意味を表す言葉を、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア わからない
- イ そうではない
- ウ どうでもよい
- エ いうまでもない

2 本文中の 、に入る言葉の組み合わせとして最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- | | | | |
|---|---------|--|-----|
| | A | | B |
| ア | 集まった | | 痛い |
| イ | とんできた | | それる |
| ウ | ぶつかってきた | | 合う |
| エ | そらされた | | ずれる |

3 本文中の——線部②の内容について、加納碧李かのうあおいはどのように考えていると思われますか。三十字以内で書きなさい。

4 本文中の——線部③の中にある「気」と同じ意味を表す言葉として、最も適しているものを次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 根気
- イ 決意
- ウ 自信
- エ 関心

5 本文中の~~~~線部 **a** は描写が表している状況を、~~~~線部 **b** は行動の意味を説明したものと、最も適しているものを次のア〜エから一つ選びなさい。

ア **a** は部員たちが練習前になごやかに話している状況を、**b** は碧李が部員たちを見返してやろうという気持ちを表している。

イ **a** は再入部した碧李を部員たちが非難している状況を、**b** は碧李が陸上部員としてやり直そうという気持ちを表している。

ウ **a** は部員たちが整列する前のざわざわしている状況を、**b** は碧李が久遠くでんに自分の弱さを打ち明けようという気持ちを表している。

エ **a** は部員たちが目の前にいる監督かんとくに対して緊張きんちやうしている状況を、**b** は碧李が部員たちを追い抜ぬこうという気持ちを表している。

【目】 木下さんは、地域にあるパン店で職場体験学習を行うこととなり、事前に店長さんにインタビューをしました。次の【インタビュー】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【インタビュー】

木下さん

① 本日はお忙しい中、インタビューを受けてくださり、ありがとうございます。早速、お聞きしていただきます。店長さんの店は毎日お客さんでいっぱいですが、その理由はどんなところにあるとお考えでしょうか。

店長さん

おかげさまで、たくさん来ていただいております。その理由については、二つあると思います。まず、当たり前のことですが、作っているパンをおいしいと感じていただいていることではないかと思えます。

木下さん

当たり前と言われましたが、いつもおいしいパンを作るのが難しいではありませんか。

店長さん

そのとおりです。パンは、使う穀物の粉、菌の種類、発酵のさせ方、焼き方などによって、そのでき上りはまさに千差万別です。そのときどきの状態によって微妙に左右されるもので、不確かなもの同士の掛け算していくわけですから、同じものができ上がるほうが不思議なくらいだと言えます。

木下さん

不確かなもの同士の掛け算していくということですが、具体的にはどういうことをされているのでしょうか。

店長さん

はい。菌や気候、火の温度などの状態はその日によって変わるので、私たちは、その状態を細かに見て調整しています。こうして、いつもと変わらずおいしいと言ってもらえるパンを作っています。ここがパン作りの難しいところであり、またおもしろいところでもあります。

木下さん

おもしろいところでもあるのですが、もう少し聞かせていただけますか。

店長さん

最高においしいパンが焼けたと思っても、続けて工夫を重ねていくと、何日後かには、さらにすばらしいパンができて上がることがあります。そうになると、昨日より今日、今日より明日へと、どんどん欲も出てき

て、理想のパンへの夢もふくらみます。だからこそパン作りは興味深く楽しいものなのです。

木下さん 店長さんのパンがすごく食べたくなりました。では、もう一つの理由は、どのようにお考えなのか。か。

店長さん はい。もう一つは常にお客様を飽きさせない店づくりを心がけているところかなと思っています。

木下さん 常にお客様を飽きさせない店づくりを心がけているとは、どのようなことをされているのですか。

店長さん はい。これも二つあります。その一つは、季節が感じられるパンを作ることにも挑戦し、定期的にお店に並べていることです。満足のいくパンが焼けて、おいしいと言ってもらえたときのうれしさはなんとも言えません。

木下さん 次にお聞きしますが、二つめはどのようなことなのですか。

店長さん もう一つは、買いに来ること自体が楽しくなるような工夫をすることです。例えば、その日限定のおすすめパンの見せ方を工夫したり、パンの紹介などの掲示物を工夫したりしています。

木下さん これらの工夫をされていて、その効果を実感できるときがありますか。

店長さん そうですね。お客様に反応いただくときですね。掲示してあることに対する感想や質問などをよく言っていただきます。接客は大事な視点だと思っていますので、お客様と良いコミュニケーションが取れるととてもうれしくなります。職場体験学習では、木下さんにも もらって、掲示物を作っていたか

木下さん と思います。お客様の反応を楽しみにしておいてください。

はい。がんばります。今日は、素敵なお話をいただき、ありがとうございます。パン作り以外にも、パンの紹介文の掲示に取り組まれていることがお聞きでき、私も紹介の仕方などを勉強して、しっかり準備したいと思うようになりました。体験学習ではよろしく願います。

② 『お仕事ナビ』などをもとに作成

* 千差万別 Ⅱ 様々な違いがあること。

1 【インタビュー】中の——線部①の発言の特徴として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 資料を提示しながら質問していること。
- イ 自分の立場を述べた上で質問していること。
- ウ 相手の発言に応じたあとで質問していること。
- エ 挨拶などを述べ、事実をふまえて質問していること。

2 【インタビュー】中の に入る言葉として、文脈に合う最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 息をついて
- イ 根を張って
- ウ 力を貸して
- エ 袖を引いて

3 【インタビュー】中の——線部②の内容では事実と感想がふくまれています。感想の部分のはじめにあたる二字を【インタビュー】中から抜き出しなさい。

4 木下さんは、【インタビュー】で~~~~~線部の質問をしていますが、ここでは、質問する前に言葉を補ったほうがよかったと考えられます。木下さんはどのような内容の言葉を補ったほうがよかったと考えられますか。次のア〜エのうち、最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 店長さんの疑問点にはっきりと答える言葉があったほうがよかった。
- イ 店長さんの思いをしっかりと受け止める言葉があったほうがよかった。
- ウ 店長さんに時間制限があることを伝える言葉があったほうがよかった。
- エ 店長さんへの質問が多くあることを説明する言葉があったほうがよかった。

【メモの一部】

★ がんばりたいこと

- お客さんとのコミュニケーション
- パンの紹介の掲示物の作成

★ 注目したいこと

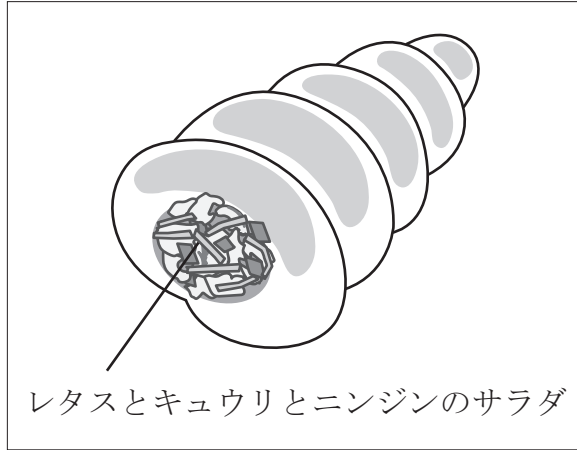
- パン作りの様子
- おいしいパン作りの難しいところ, おもしろいところ
- を追い求めている店長さんの姿勢
- お店の雰囲気
- 買いに来ること自体が楽しくなるような工夫

5 木下さんは、インタビューのあと、職場体験をするにあたって、「がんばりたいこと」、「注目したいこと」をメモにまとめました。次の【メモの一部】中の に記入する適切な言葉を、【インタビュー】中から五字で抜き出してください。

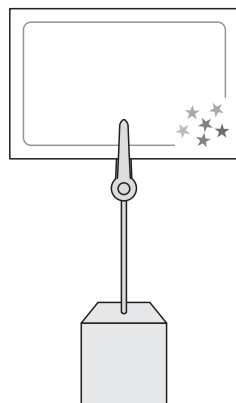
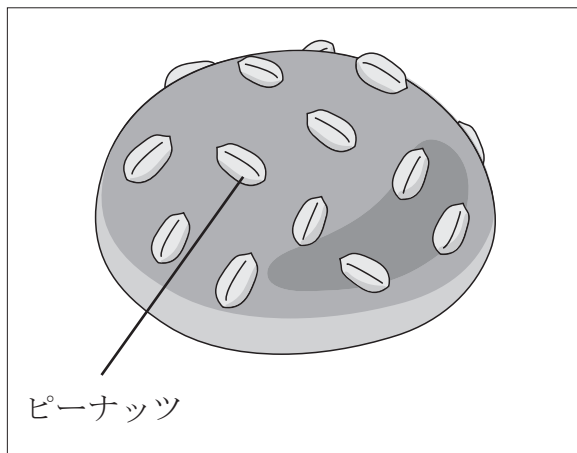
6 木下さんは職場体験学習での活動として、次のA、Bどちらかのパンの紹介文を【カード】に書くことになりました。あなたなら、どのような紹介文を書きますか。あとの条件に従って書きなさい。なお、A、Bどちらについても書いてもかまいません。

【カード】

A



B



条件1 外見が分かるように比喻を用いて表現すること。

条件2 食感や食材の様子を想像して、表現を工夫して伝わるように書くこと。

条件3 三十字以上、四十字以内で書くこと。

四

立花さんは、「共通語の広がり」について調べ、レポートにまとめているところです。次の立花さんのレポートの下書きの【一枚め】、【一枚め】、【一枚め】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【一枚め】

共通語の広がり

1. はじめに

「自分の育った地域の方言を知らない若者が増えている」という内容のテレビ番組を見たことから、共通語の広がりに関心をもった。そこで、生まれた年代によって共通語の広がりに関心があるのかを調べた。さらに、関心があるとしたらどの程度関心があるのか、また、なぜ関心があるのかについてさまざまな角度から考えてみた。

2. 調査方法

- (1) 学校図書館や地域の図書館で調べる。
- (2) インターネットで調べる。

3. 調査結果

- (1) 生まれた年代による共通語（ここではアクセントやイントネーションのこと）の使用率について
 - ・ 国立国語研究所が1951年から20年おきに東北地方で調査
 - ・ 対象の年齢は15歳以上

表1 生まれた年代による共通語の使用率 [%]

調査年 \ 生まれた年代	1951	1971	1991	2011
1882～1891	37.0			
1892～1901	38.7			
1902～1911	53.1	63.7		
1912～1921	63.6	71.8		
1922～1931	67.4	82.3	77.0	88.7
1932～1941	60.4	85.8	87.1	98.6
1942～1951		94.1	91.1	99.9
1952～1961		95.4	96.8	99.9
1962～1971			98.5	100.0
1972～1981			98.6	99.9
1982～1991				99.9
1992～1996				100.0

(統計数理研究所・国立国語研究所資料より作成)

が増加している。このように隣り合う「調査年」どうしで比べた結果、1951年と1971年の間での共通語の使用率の変化が最も大きい。

次に、「調査年」ごとの共通語の使用率は1951年、1971年、1991年それぞれにおいて、全体的に見ると、「生まれた年代」が後になるほど高くなる傾向にある。また、2011年では「生まれた年代」のすべてで共通語の使用率が極めて高い。

《分かったこと》

表1において、「生まれた年代」ごとの共通語の使用率は1902年～1911年で見ると、1951年と1971年の間では53.1%から63.7%へと増加している。同じように「生まれた年代」ごとに共通語の使用率を比べていくと、隣り合う1951年と1971年、および A 年と B 年それぞれにおいて、共通して調査されている「生まれた年代」すべてで共通語の使用率

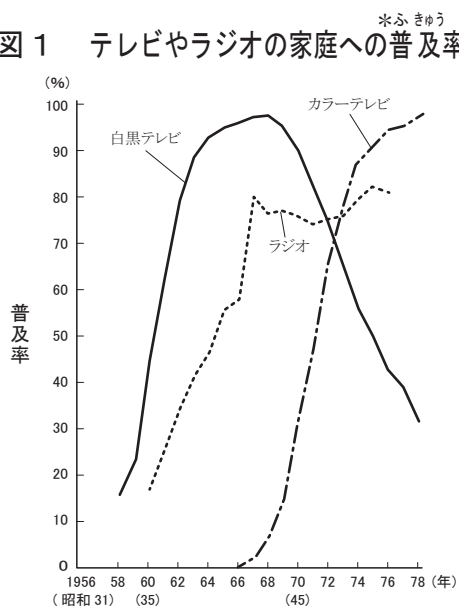
(1) で分かったことから出てきた、新たな疑問

- (i) なぜ1951年と1971年の間での共通語の使用率の変化が最も大きいのか
- (ii) なぜ1951年, 1971年, 1991年それぞれにおいて, 全体的に見ると, 「生まれた年代」が後になるほど高くなる傾向にあるのか
- (iii) なぜ2011年では「生まれた年代」のすべてで共通語の使用率が極めて高いのか

(2) 新たな疑問 (i) について

話す言葉はよく聞く言葉に影響を受けやすい、という私自身の経験から、共通語の広がりについても同様ではないかと思った。そこで、身の回りにあるテレビやラジオに着目した。テレビとラジオの共通点は、ほとんどの場合、共通語が音声として流れる。この共通点が共通語の使用率の変化に関係していると推測し、探した資料(図1)を用いて考えた。

図1 テレビやラジオの家庭への普及率



(注) ラジオのグラフは、トランジスタラジオなどをふくむ。

(科学技術研究所資料より作成)

《分かったこと》

白黒テレビの普及率は1958年から1963年までの間で急激に増加している。その後、白黒テレビの普及率の増加はゆるやかになり、1968年からは減少してく。一方、ラジオの普及率は1960年から1967年までの間で急激に増加している。その後、ラジオの普及率は白黒テレビとほぼ同時期に増加が止まり、80%前後を推移する。また、カラーテレビの普及率は1966年から1974年に急激に増加している。

《新たな疑問 (i) についての考察》

C

(3) 新たな疑問 (ii) について

* 普及 = 広くゆきわたること。

1 次のア～エのうち、【一枚め】中の に書かれている内容を説明したものととして、誤っているものを一つ選びなさい。

- ア 立花さんが興味をもっていることを書いている。
- イ 立花さんがはじめから知っていたことを書いている。
- ウ 立花さんがレポートのテーマを決めたきっかけを書いている。
- エ 立花さんがレポートに書くようとしている内容について書いている。

2 【一枚め】中の A、 B に入る適切な数字をそれぞれ書きなさい。

3 立花さんは、【二枚め】を見直したとき、——線部①と——線部②とのつながりが合っていないことに気づきました。——線部①はそのままにして、文の意味が変わらないように、——線部②を正しく書き直さない。

4 立花さんは、【二枚め】を見直したとき、——線部③が誤った表現であることに気づきました。——線部③の意味を変えないように、六字で正しい表現に書き直さない。

5 立花さんは、【二枚め】中の **C** に考察を述べようと考えています。あなたなら、どのように述べますか。あとの

条件に従って書きなさい。

条件1 「いつ、何が、何に」影響^{えいきょう}を与^{あた}えたと考えられるかを具体的に書くこと。

条件2 五十字以上、八十字以内で書くこと。なお、数字を使う場合は「例」に従って書くこと。

〔例〕

1	9	8	0	年
3	0	.	3	%

問題は、次のページに続きます。

【五】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

『落栗物語』おちくりものだりによる

1 本文中の——線部①について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

(2) 発言した人物と違う人物の動作を、本文中の~~~~線部ア〜エから一つ選びなさい。

2 本文中の A、B に入る適切な言葉を、本文中からそれぞれ漢字一字で抜き出しなさい。

3 本文中の——線部②を現代語に直したものととして最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア すみやかに都へ人をのぼらせて行って、柳の水を瓶びんに入れて川に流させて
- イ こっそりと都へ人をあがらせて、柳の水を瓶に入れて関東にくだらせて
- ウ ひそやかに人を都へ呼んでもらって、柳の水を瓶に入れてくださって
- エ たくさんの人を都へ送り込んで、柳の水を瓶に入れて入れさせて

4 次のア～エのうち、本文中の——線部③の内容として、最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 昭乗しょうじょうがすばらしい文字を書くだけでなく、將軍よりもはるかに物知りであったこと。
- イ 昭乗がほんの少し水を使っただけで、硯すずりに何回も筆をつけずに美しい文字を書いたこと。
- ウ 昭乗が少し文字を書いただけで、使った水が柳の水と変わらないよい水だと言ったこと。
- エ 昭乗が書の達人であることを少しも自慢じまんすることなく、謙虚けんきょな態度で対応していたこと。